

事業の背景・目的

能勢町の豊かな生物多様性資源を多様な主体によって保全するため、街と里の交流事業に積極的に取り組んでいくことにより、それぞれの地域にある生態系の重要性を確認する。

街と里の次世代を担う子ども達の交流イベント「グリーンツーリズム振興事業」を実施し能勢町と街の生物多様性資源の重要性とをのつながりを伝える。

また、CSR活動や社会貢献活動を行う企業とクリ林のマッチングを行うため、昨年度クリ林等をフィールドとして作成した生物資源の回復が指標としてわかる「のせの生きものマップ」と多様な機能をもつ能勢のクリ林と里山に関するリーフレットを作成し配布することで能勢のクリ林を含む生物資源、生物多様性資源の重要性を認識してもらい、保全、再生、活用に努める。

事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

・グリーンツーリズム振興事業
街(吹田市・豊中市)と里(能勢町)の
児童が一堂に会し、交流する「里山
デイキャンプ in NOSE」を開催。



・森林資源利活用促進事業
昨年度、クリ林等をフィールドとして作成した
生物資源の回復が指標としてわかる「のせの生き
ものマップ」と多様な機能を持つ能勢のクリ林と
里山に関するリーフレットを作成し配布。

得られた成果

・里山デイキャンプを開催することで次世代の担い手となる子どもに能勢の生物多様性資源の重要性を伝えることができ、人と自然とのふれあいの場の提供等をとおして次世代人材の育成を図ることができた。

・「能勢の生きものマップ」と多様な機能を持つ能勢のクリ林と里山に関するリーフレットを作成し配布することで、能勢の生物資源、生物多様性資源の重要性を認識してもらい保全、再生、活用に寄与する。